



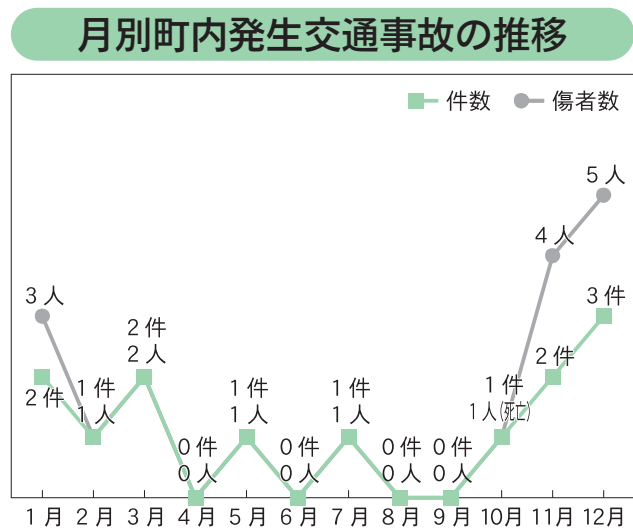
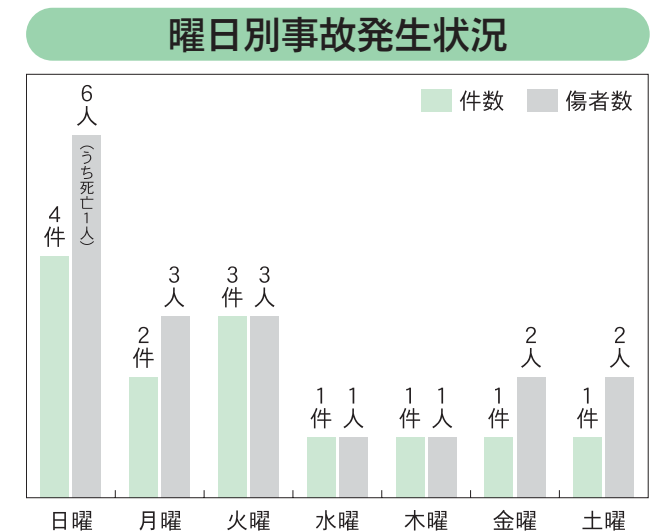
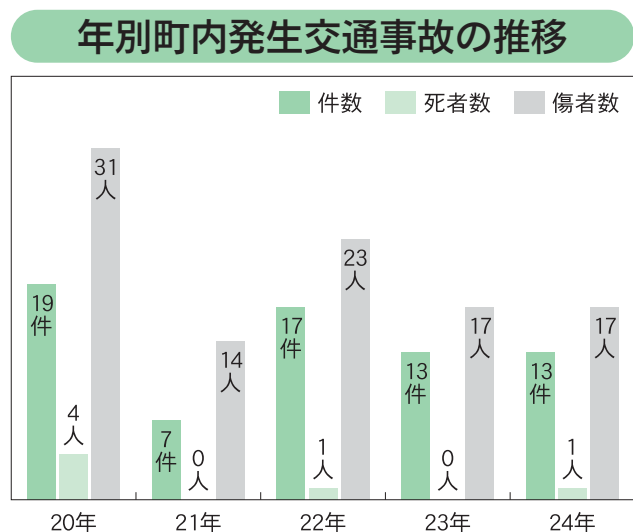
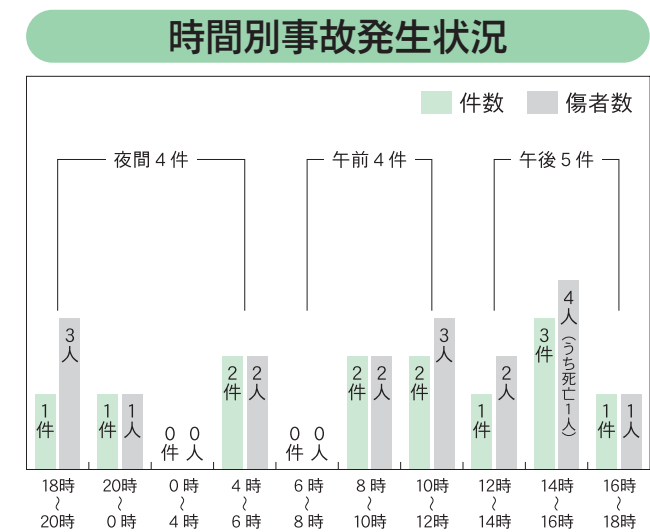
平成24年中に発生した 長万部町の交通事故を分析！

いまや交通事故は、私たちの生命を襲う最大の脅威となっています。
いま一度、交通事故をなくすため、町民みんなで交通安全について考えてみましょう!!



道路別	事故類型別	法令違反別	通行目的別
■国道5号〔5件・5人〕 （うち死亡1人）	■車両相互 正面衝突〔5件・6人〕	■安全運転義務違反 （前方不注意・動静不注視など）〔10件・15人〕	■業 務〔6件・7人〕
■国道37号〔4件・5人〕	追 突〔4件・6人〕		■レジャー〔2件・3人〕
■高速道路〔2件・4人〕	そ の 他〔2件・3人〕	■追い越し〔2件・2人〕	■その他私用〔5件・8人〕 （うち死亡1人）
■町 道〔1件・2人〕	■車両単独〔2件・3人〕 （うち死亡1人）	■過労運転〔1件・1人〕 （うち死亡1人）	
■そ の 他〔1件・2人〕			

※〔発生件数・傷者数〕



ストップ・ザ・交通事故死

いめさせ 安全で安心な北海道！

交通事故の多くは、脇見運転、居眠り運転、一時不停止など運転者の不注意によって発生し、わずかな気の緩みが予期せぬ悲劇を生んでしまいます。そして、被害者になっても加害者になっても、一瞬のうちに幸せな家庭を崩壊させてしまうのが交通事故です。全国の交通事故による死者数は、12年連続で減少しています。それでも列島のどこかで、ほぼ2時間に1人が交通事故で亡くなっており、これだけ多くの交通事故がおきているにもかかわらず、自分自身の問題と考えにくいのが交通事故で、「事故との遭遇」は決して他人事ではなく、ある日突然、あなた自身にふりかかってくるかもしれない、怖い出来事なのです。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年1年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

1人が死亡 17人が重軽傷

長万部町内で昨年1年間に発生した交通事故は13件、傷者は17人で、前年と比べて件数、傷者数ともに同数でありました。しかし、昨年は0件だった死亡事故が1件発生し、町外の方1人が犠牲となりました。

北海道全体では、死者数が前年より10人多い200人という結果となり、5年連続での減少とはならず、ワーストワンは回避したものの、愛知県に次いで埼玉県とともにワースト2位になってしまいました。

交通事故の多くは国道5号と37号で

道路別では、国道5号線5件、37号線4件で、国道での事故が約7割を占め、高速道路でも2件発生しています。また、事故の約8割が他市町村からの通過車両による事故で、季節的には冬に多く発生しています。

比較的通見通しの良い道路であることが、スピードの出過ぎや無理な追い越しなどの

町内で発生した交通事故状況

事故の種類	件数	死者数	割合
町内の人の事故	3件	5人	23.08%
町外の人（通過型）	10件	13人	76.92%（うち死亡1人）
全 体	13件	18人	100%

類型別の発生状況を見ると、正面衝突や追突などの車両相互による事故11件、車両単独による事故2件となっています。法令違反別の発生状況では、前方不注意などの安全運転義務違反10件、追い越し違反2件、過労運転1件となっています。

便利な自動車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になります。

便利な自動車も恐ろしい凶器に

事故原因になっているものと思われま。

ゆとりを持ってスピードダウンで

時間別では、業務などで長万部町を通過する日中に9件の事故が発生しています。自動車を運転するときは、時間と気持ちにゆとりを持つことが大切です。

休日等は特に注意が必要

曜日別の発生状況では、日曜日が4件で最も多い結果となりました。

休日等は交通量も多く、気分的にも解放され、注意力が散漫になりがちなため、自動車を運転する際は特に注意が必要です。